

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和4年3月1日

事業所名 児童発達支援OKプラネット 保護者数53<児童数55(2組きょうだい)> 回収数45 回答率85%

	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1. 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	38	1	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部屋が大きすぎず子供が集中して取り組めるちょうど良い大きさである。</li> <li>・靴を脱ぎ履きするスペースがもう少しあればよいと思う。</li> <li>・走り回ったりするスペースとしては少し狭い利用人数に対して十分だと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令に準じたスペースの確保しておりますが、現在の指定を受けた場所では、新型コロナウイルスの感染予防のために、密にならないように配慮をする難しさを感じております。</li> </ul>
	2. 職員の配置数や専門性は適切であるか	41	0	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生の人数が多くたくさんの人と関われる。</li> <li>・人気の特別プログラムは応募が多いようで毎月希望の時間に参加できるわけではないが対応して頂いていると思う。充分だと思っております。</li> <li>・自分が遊びたいおもちゃをカードで選んで決め「ちょうだい」「ありがとう」のやり取りをする際に、うちの子は特にすぐに次のおもちゃで遊びたいと言うので違うおもちゃで遊びたい子が重なった時、せっかく子どものためにと考えて取り組んでいる事が流れ作業のように感じていると感じたのでその時にもう少し職員の方がいたらもう少し丁寧に関われるのではないかなと感じました。</li> <li>・適切だと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業療法士や言語聴覚士の専門職の求人は、なかなか難しいところがあります。また、NC個別も枠や職員が対応できる人数があり、ご希望に添えないことが多々あります。今年度導入した受付アプリのご利用のご希望状況を見ながら、今後も指導回数等を検討していきたいと思っております。</li> <li>・今後も職場内でより良い支援法を検討したり、自己研鑽して、知識や技能を高める努力をしていきます。</li> </ul>
	3. 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	42	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設問に関し親の知識不足のため分かりません。</li> <li>・その日に遊ばないものは工夫を凝らし見えないように仕舞われていたり、布をかけた状態になっていて良いと思う。動線もわかりやすい。</li> <li>・可動式の仕切り棚がよいと思う。カードに文字と絵を書いて表示しているため子どもが自分の目で見て考え行動に移す事ができているのが良いと思う。</li> <li>・バリアフリーを必要としていませんが、そこまでの設備を設けていないかもしれません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの視線を考えて、刺激になるものが目に入らないような工夫や、手順なども視覚補助を使いながら理解しやすい配慮をしています。</li> <li>・狭い場所なのですべてのバリアフリーは難しいですが、安全な空間を考えていきます。</li> <li>・構造化への配慮を続けていきます。</li> </ul>
	4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	43	0	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動中に、見えないスペースで子ども同士でトラブルになったことがありました。クガがなくて幸いでしたが、スペースの中で起きたことは把握できていなかったようでした。</li> <li>・構造化に加え、見えにくい場所への注意、見守りも大切だと思います。</li> <li>・いつも清潔に保たれています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が気が付かなかった死角があったようで、このようなことが今後ないように職場内で検討しました。</li> <li>・子ども達の様子を見ながら、室温、湿度、換気も含めて安全な過ごしやすい環境を整えていきます。</li> </ul>
適切な支援の提供	5. 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※が作成されているか	43	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談内容を良く聞いて一緒に考えてくれました。</li> <li>・まだ入所したばかりなので問題ありません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話せる子は子どもとの対話から、また子どもの喜ぶ様子、嫌な様子などの観察から子どものニーズを把握します。</li> <li>・保護者とも密に関わりを持ちながら、ニーズや課題の把握に努めます。</li> </ul>
	6. 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	42	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手な所を細かく見ていただき支援してもらっているのがよくわかる。</li> <li>・問題ありません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者とのヒアリングでは、ゆっくり話せる場の設定を検討していきます。</li> <li>・家庭、地域の視点も入れて、各自の子どもの状況に合わせて支援計画を作成し、支援内容についても保護者に分かりやすい説明ができるように心掛けていきます。</li> </ul>
	7. 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	36	0	4	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通い始めたばかりのため。</li> <li>・問題ありません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に沿った支援が出来るように、保護者への説明をより丁寧にしていきます。</li> </ul>
	8. 活動プログラム※が固定化しないよう工夫されているか	39	1	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人のリクエストに応じつつバリエーション豊かな活動内容である。</li> <li>・通い始めたばかりなのでわかりません。</li> <li>・一連の流れを固定化する事で子どもが見通しを立ててその日の活動を理解しやすくてくれていると思います。</li> <li>・各々の活動については、例えば音楽療法で楽器への触れ方を変えてみたり、リトミックのやり方も固定化しない形でさらに子どもの興味や好奇心を引き出していたけるとよいなと思います。</li> <li>・問題ありません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムは固定化をすることで安心感を、また少し変化させることで応用を学ぶ機会になるとよいと思っています。今後も興味・関心が引き出せるプログラム活動を目指していきます。</li> </ul>
	9. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	17	7	3	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園訪問をしていただきました。</li> <li>・保育園に通っています幼稚園に園訪問に行ってください。</li> <li>・まだ入所したばかりなのでこども園への訪問を行っていただきました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度は、保育所等訪問支援事業を開設するので、継続的に園訪問をして、集団場面での指導にあたります。</li> </ul>
保護者への説明等	10. 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	44	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題ありません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時等より丁寧に分かりやすい説明を心がけます。</li> </ul>
	11. 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	40	0	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題ありません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もガイドラインの周知に努めていきます。</li> </ul>
	12. 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング※）が行われているか	29	4	4	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望者のプログラムがあるのは伺いましたが、下の子どもおりの時間の制約があるので、もう少し気軽な形（メルマガ風やグループ指導後の振り返りの際のフリップポイントアドバイスなど）で教えていただけたらありがたいと思います。</li> <li>・系列の事業所でペアレントトレーニング等のプログラムを用意して下さっています。</li> <li>・まだ受けてはいません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は練馬区OKプラネット開町会場に、NPO法人の活動として、「ペアレントトレーニング」「ペアレントプログラム」を実施しました。通所の方も数名参加されています。</li> <li>・また、所内相談を利用して個別には、ペアレントトレーニングの視点を入れての相談をしました。</li> <li>・グループ指導後の振り返り時やメールマガジン等も、視察に入れて検討していきます。</li> </ul>
	13. 日頃から子どもとの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	41	1	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動のレビューは十分に頂いていますが、むしろこちらが日頃の状況をお伝えし切れているかわかりません。</li> <li>・まだ2回しか行ってないためわかりません。</li> <li>・問題ありません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との信頼関係を築き、より良い共通理解の方法を検討していきます。</li> <li>・子育て相談が定着しつつあるので、今後も利用して頂けるようにPRしていきます。</li> </ul>
	14. 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	36	1	3	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも所内相談を利用して頂き、話を聞いていただける場所があることが大変ありがたいです。</li> <li>・半年に1回、確実に実施頂いているので、あとは不定期にお話しできたらと思います。</li> <li>・通い始めたばかりのためまだ通い始めたばかりなので、今後あるのでしょうか？</li> <li>・とても頼りになります。</li> <li>・子育て等の不安や相談に乗ってください。</li> <li>・問題ありません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年毎にモニタリング面接を行い、ご要望等をお聞きしますが、時間を取ってゆっくり相談できるように、所内相談をお勧めしています。</li> <li>・今後も所内相談で育児相談も含めて、対応していきます。</li> </ul>
15. 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	24	4	7	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会はありましたが出席者は少なかったです。</li> <li>・コロナ禍の中仕方ないと思う。</li> <li>・コロナの影響がありましたが、今年に入ってから保護者の方々との意見交換ができるような就学相談の保護者会を開いて下さっています。</li> <li>・問題ありません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前は、行事等には保護者も参加できるような企画をしていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のために実施できずでした。</li> <li>・今年度は保護者会を各クラス年2回実施して、好評でした。</li> </ul>	

	16. 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	40	0	2	3	・問題ありません。	・保護者の方が相談しやすいような雰囲気、体制作りを検討していきます。 ・今後も迅速、丁寧に対応していきます。
	17. 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	39	0	2	4	・問題ありません。	・指導の終了時にフィードバックをして、また当日の記録を通して状況をお伝えしています。 ・また入口にご意見ポストを設置しています。 ・今後も、所内相談（子育て相談）を利用しやすくします。
	18. 定期的な会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	36	1	0	8	・問題ありません。	・今後も毎年、自己評価の結果をおたよりやホームページで発信していきます。 ・ホームページの紹介をしています。
	19. 個人情報の取扱いに十分注意されているか	37	1	4	3	・わかりません。	・契約時、個人情報の取り扱いの説明と同意を得ていますが、今後も十分注意していきます。
非常時等の対応	20. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	36	1	2	6	・問題ありません。	各種マニュアルは作成してあるので、今後は保護者への周知を考えていきます。
	21. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	37	0	0	8	・問題ありません。	・年1回、各クラスで避難訓練をしています。
満足度	22. 子どもは通所を楽しみにしているか	39	0	6	0	・毎回行くのが楽しみたいです。 ・毎回とても楽しみにしていて小学校に入ってから通いたいと言っています。 ・行って遊び始めれば楽しく過ごしていますが、家から向かう途中では、少し嫌がる様子を見せます。まだ本人が理解できていないので、あとは慣れかな、という気がします。最近幼稚園を楽しめるようになりましたが、OKプラネットの方がもっと楽しいと息子は言います。 ・たまに気持ちが悪くなる通所を嫌がる時もありますが、概ね楽しく通っています。 ・毎週火曜日の予定ですが仕事等により毎週行く事ができないのもあって子どもの中でセンターに行く事が定着していないため期間が空くと、緊張感が高まり行くのを渋る傾向が稀にみられるが、基本的には楽しく通っています。 ・問題ありません。	・引き続き、お子さまがプラネットに行くことが楽しみと感してもらえようように努力していきます。
	23. 事業所の支援に満足しているか	39	0	4	2	・感覚統合を1度も受けていないので受けるようアドバイスをいただいたものの1度も抽選に当たりません。 ・子にとって感覚統合が要か不要かは違って判断としても【初回】だけは抽選ではなく優先的にご案内していただけたらなおもいます。 ・プログラムによって予約がとりにくかったりする所が少し困る所です。 ・子供のことだけでなく、家族間のトラブルの相談などにものっていただき、大変心強く感謝しております。 ・グループ活動と個別活動を両立していただき細かい支援をしていただけています ・まだ2回しか行ってないため ・いつも子供の事を理解して接してくださり、ありがとうございます。 ・まだこれから、という程しか通えていないため。 ・ただ、スタッフの皆様も積極的かつ親身で助かっております。 ・引き続き宜しくお願い申し上げます。 問題ありません。 価格が他と比べて時間が短いと感じる。	・人気の感覚統合の受付については、新規の方は優先で行っています。しかし、複数の新規の方が同じ枠に希望があった場合は、予約が取れない方が出てしまいます。予約は1枠だけでなく、複数枠申込みしたり、平日の枠を利用されたりすると当たりやすくなります。今後、申込み方法の説明を丁寧に行います。 ・保護者さまと話す機会を多く持ち、ご意見をお聞きして、満足してもらえようように努力します。

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和4年3月1日

事業所名 児童発達支援OKプラネット 講師以外の職員7名回答

	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点や課題、改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1. 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0	0	人数が多い時は、2階の部屋を使ったりと、工夫している。 法令に準じた確保をしています。 今年度は新型コロナウイルスの感染に心配から、よりグループ人数を少なくして対応しました。 活動内容によって使わない物は、移動させ訓練室には置かないようにしている。 コロナ禍で、密集しすぎないように定員を調整し、換気を行って実施している。	・法令に準じた場所の確保をしておりますが、コロナ禍の現状では、密にならないように利用人数の調整が必要です。今後も新型コロナウイルスの感染状況を見ながらの、人数調整になるかと思えます。 ・狭い場所ではありますが、空間をうまく使い、少しでも広く使えるように工夫をしていきます。
	2. 職員の配置数は適切であるか	7	0	0	子どもの特性や状況に応じるために、東京都指定の最低人員に加えて1名以上多く保育士、または児童指導員等を配置しています。 対応が大変なクラスでは、子どもの数に対して、対応職員が多すぎることもあるので、クラス運営について検討、実施する必要がある。	・グループ指導では、構成メンバーの特徴も考慮して、適正な職員配置を検討していきます。 ・子どもの緊急時に合わせて対応できるように、担当職員以外にもすぐに協力できる体制を作ります。
	3. 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	0	0	子どもの特性に合わせた配置を変更するなど、適宜調整を行っている。活動に合わせて、部屋を運んでいます。 一番大きなプレイルームはパーテーションで区切り、活動内容に合わせて、広さの調整を行っています。また、絵カードを並べて手順やスケジュールをお知らせしたり、スイッチや道具等は覆いをして刺激を減らしています。 子どもにとって余計な刺激を減らせるよう、活動によってスペースを分離させたり、移動したりなど工夫している。 絵カードを使用したり、出来るだけ不要なものを置かないことで刺激を減らしたりしている。	・入口玄関からの入室時に気が散らないような環境作り、また子どもが外に飛び出さないような配慮をします。 ・子どもが活動に集中できるように環境つくり、また、わかりやすく安全に動けるように今後も検討していきます。
	4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	0	1	清潔に留意して、毎日の清掃で、新型コロナウイルス感染防止のために使用した場所の消毒や器具・道具の消毒をしております。 コロナ感染防止のため、出来るだけ消毒をするようにしている。 子どもが使う道具などは都度消毒しているが、共有部分の清掃が不十分。	・今後も新型コロナウイルスの感染防止のための清掃、特に共有部分の消毒を徹底して行っていきます。
業務改善	5. 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	0	1	月に一回のミーティングで、PDCAサイクルで問題点を話し合っております。 また、年間目標と計画を立て、年度末に業務反省をして、評価しています。	・職員間の情報交換を密にして、日頃から問題意識をもって仕事に取り組んでいます。また、年度末の業務反省と評価を次年度の計画につなげていきます。
	6. 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	今回の評価表や終了者の御意見を参考にして、改善に努めています。	保護者の貴重な意見は小さなものでもノートに記録していき、スタッフ全員で情報共有します。
	7. 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	0	毎年、自己評価表の結果を3月のお便り、4月のホームページに公開しています。	今後もおたより掲載で個別配布、およびホームページにも掲載していきます。
	8. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	4	3	外部評価がどのように行われているかを把握していません。第三者評価はまだしていません。	現在はしていない第三者評価は、今後の検討予定です。
	9. 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	今年度はコロナ感染防止のため、オンラインによる研修も積極的に参加した。	・今年度は、コロナ禍のために、ライン研修が多かったので手軽に受講出来ました。今後コロナが終息後は、所内での研修も企画していきたいです。
適切な支援の提供	10. アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	0	0	半年毎に、主に担任が保護者との面談で評価および課題を話し合い、次期計画作成をしています。 さまざまな領域の専門職の意見を聞いて作成しています。	・計画作成には、時間をかけて行っていますが、今後は、保護者様と共有できる方法を探ってきたいと思えます。
	11. 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	1	個別指導では、NCプログラムのアセスメントツールを、感覚統合指導では、JSI-Rを、言語指導ではLCスケール、新版構音検査、質問-応答関係検査を使用しています。 希望者にWISC-IVを実施しています。 参考にしてはいるが、記録および活用されていない。	杉並区相談係では、新版K式発達検査、田中ビナー知能検査ツールを使っています。今後は検査用具を購入し、所内でも検査する予定です。
	12. 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	0	0	保護者への周知が、あまり行われていない。本人にとどまらず、なるべく家族、および通線先を視野に入れて、支援を心がけています。	・今後も「家族支援」は、重要なテーマなので、意識して取り組んでいきたいです。
	13. 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	0	0	保護者への周知をもっと行なった方が良い。 グループ担当で共有しています。	・計画作成には、時間をかけて行っていますが、今後は、保護者様とまた、グループ担当職員間で共有できる方法を探ってきたいと思えます。
	14. 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	1	グループリーダーが企画したことを、他スタッフと協議して決めています。 発達段階にもよりますが、同年齢のクラスの活動内容が共有できると立案・準備の時間が短縮できると思う。	・今後も継続します。
	15. 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	0	過去の活動の記録や、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士など、専門の先生のアセスメントも取り入れながらプログラムを作っている。 季節感を出すようにしています。子どもの発達段階やクラスの状況に合わせてプログラムを構成している。	・今後も継続します。
	16. 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7	0	0	集団指導で十分行えないところを、個別指導でフォローしています。	・今後も継続します。
	17. 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0		・今後も継続します。
	18. 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	0		・今後も継続します。
	19. 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	グループ終了後、カンファレンスをして振り返り、その日の流れ、個々の状態や全体内容等共有して、評価・記録をしています。 また効率よく進行できるように、タイマーをかけたりして工夫しています。	・今後も継続します。
20. 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	半年毎に、担当者が保護者と面談して状況を聞きとり、成長を評価し、支援計画の見直しをしています。	・今後も保護者面談を重視していきます。	
関係機関や保護者との	21. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	3	現在は、所内スタッフのみで検討している。	・必要時、外部からの参加を促したいと思います。
	22. 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	0	0	保育園・幼稚園訪問や、区の相談担当者と連携しています。	・要支援家庭など他機関と情報共有が必要な家庭は、今後とも連携強化を図っていきます。
	23. 「(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか」	1	2	4	現在該当する子はありません。対象児なし	・現在、医療ケアの必要な子はいません。
	24. 「(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか」	0	2	5	現在該当する子はありません。対象児なし	・現在、医療ケアの必要な子はいません。
	25. 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	0	保護者と園の意向を受けて、保育園や幼稚園を訪問したり、また電話等で情報交換しています。	今後は、保育所等訪問支援の指定を受けて、必要時、実施していきたいです。
	26. 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0	0	ご希望により、連携シートの作成、WISC-IV検査結果の情報提供などを行っています。	今後は、保育所等訪問支援の指定を受けて、必要時、実施していきたいです。
	27. 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	0	0	区のこども発達支援センターや他の事業所と相談したり、連携したりしています。	

の 連 携	28. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3	3	通っているお子さんのほとんどは、保育園や幼稚園に通っています。	・通ってくる子が、通常の園の子どもたちなので、日常的に交流しています。また、今年度は実施できませんでしたが、NPO法人I am OKの会主催の野外活動等をご案内して、参加される方もいます。今後も参加を呼び掛けていきます。
	29. (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	2	1	事業所に案内が来るものには、積極的に参加しています。	
	30. 日頃から子どもたちの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	毎回、子どもたちが帰りの会を行っている間に、保護者にフィードバックで伝えていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のために、保護者へのフィードバックができない期間がありました。	・今後も保護者との対話を重視し、コミュニケーションを図ります。
	31. 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7	0	0	コロナ禍で講座としては実施できていないが、保護者会等で要素を取り入れている。保護者を対象の親子プログラムの中で、内容を取り入れて実施しています。また、今年度は、NPO法人活動で実施して、利用者にもご案内しました。	・保護者のご希望に合わせた家族支援プログラムを検討し、実施していきます。 ・今年度はペアレントトレーニングとペアレントプログラムをNPOの活動で実施して、利用者にも声かけて参加してもらいました。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	32. 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	通所開始日および契約時、説明していますが、十分に理解してもらったかは不安があり、今後検討が必要です。	・説明をさらに丁寧にさせていただきます。
	33. 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	0	1	支援計画作成時、説明して同意を得ています。	・職員がまずガイドラインを読んで理解できるように働きかけていきます。
	34. 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	所内相談の希望が年々増えており、子育て相談にも対応しています。	・今後も子育ての相談場所としての利用を促していきます。
	35. 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	0	0	今年度は、各学年で年2回保護者会を実施しています。	・今後も各クラスでの情報交換として保護者会を実施していきます。 ・また、NPO法人の活動を紹介しながら、参加を勧めていきます。
	36. 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	所内相談を活用して、保護者の方とゆっくり相談できる日程をお勧めしています。	・育児相談、および家族相談を含めて、所内相談を活用していきます。
	37. 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	月1回お便りを全員に配布しています。	・さらに読みたくなるような内容の濃いお便り作りを目指します。
	38. 個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	0	0	入所時、個人情報の取り扱いの説明と同意を得ています。また、鍵付キャビネットに記録類は保管しています。	・更に十分に注意をしていきます。
	39. 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	個別の相談場所は、配慮しています。	
	40. 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	2	今年度は、新型コロナウイルス感染防止のために制限がありました。	・今後もコロナの状況を見ながら、地域との連携、交流を進めていきます。
	非 常 時 等 の 対 応	41. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	0	0	マニュアルは作成していますが、まだ保護者に周知が十分ではありません。
42. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		7	0	0	年1回、各グループで避難訓練を実施しています。	・今後も継続します。
43. 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか		7	0	0	見学時および入所時、病気の有無や治療を聞いています。	・今後も継続します。
44. 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		7	0	0	入所時、および食品を出す行事の前にアレルギーの有無を聞いています。 ・またアレルギーのある場合は、母から医師に確認して頂いています。	・今まで指示書はもらっていません。
45. ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		7	0	0	事故等ノートに記入したり、ミーティング時に職員間で情報共有しています。	・今後もヒヤリハット事例は意識し、記録に残し共有していきます。
46. 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		7	0	0	虐待研修に積極的に参加しています。	・今後も継続します。
47. どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		3	0	3	原則、身体拘束することはありません。 ・身体拘束は行わない	・子どものパニック時、自傷他害の危険がある時にどう対応するかをより詳細に検討することが今後の課題です。